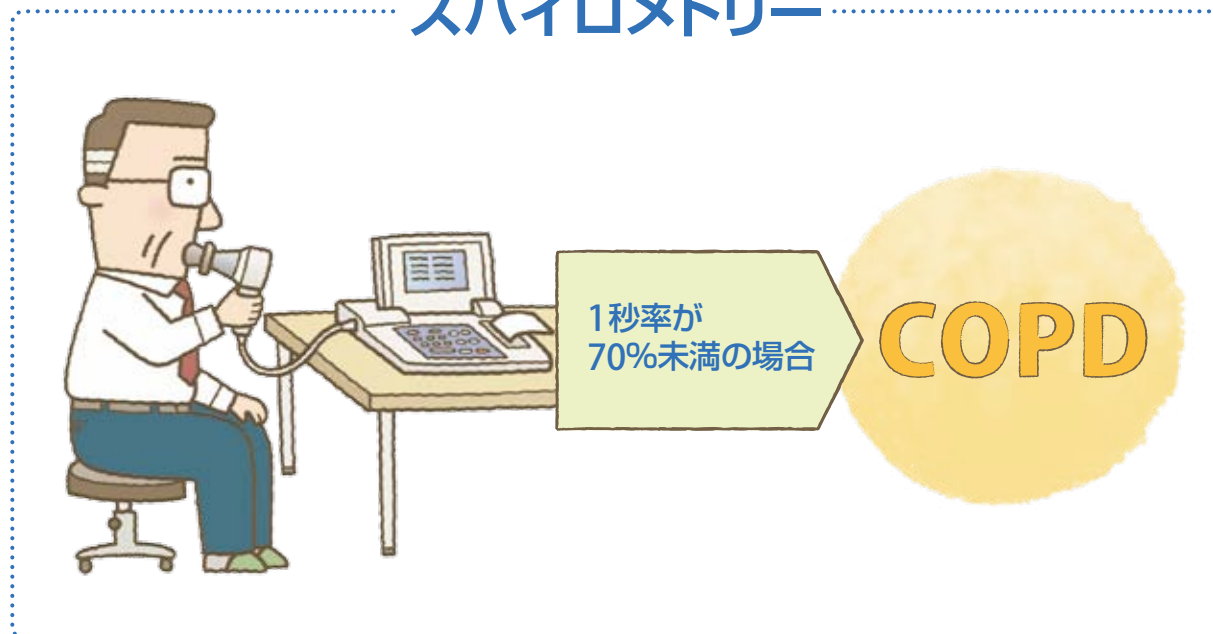


シーオーピーディ

COPDの検査方法

スパイロメトリー



ハイ・チェッカー



スパイロメトリーを用いてCOPDであるかどうかの診断を行います。
この検査では、できるだけ大きく息を吸った後、吸った息を一気に強く吐き出したときの空気の最大量「努力性肺活量 (FVC)」と、最初の1秒間に吐き出せる空気の量「1秒量 (FEV1)」を測定し、1秒量を努力肺活量で割った「1秒率 (FEV1.0%)」を算出します。(FEV1.0%=FEV1÷FVC×100)
ただし、COPD以外の病気が原因で1秒率に影響が出ている可能性もあるため、血液検査、胸部X線検査、胸部CTなどによる検査を行い、他の病気の有無を調べます。



COPDでは早期発見が重要となるため、近年は、簡便に肺機能の主要項目を測定できるハイ・チェッカーを用いて、COPDの疑いを確認することもあります。この検査では、1秒量 (FEV1)などの肺機能の主要項目を測定します。
また、平均的な肺年齢も表示されます。